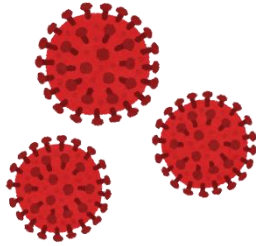




地域密着型IT人材育成プログラム

まなびと

新型コロナウイルス感染症の
流行長期化



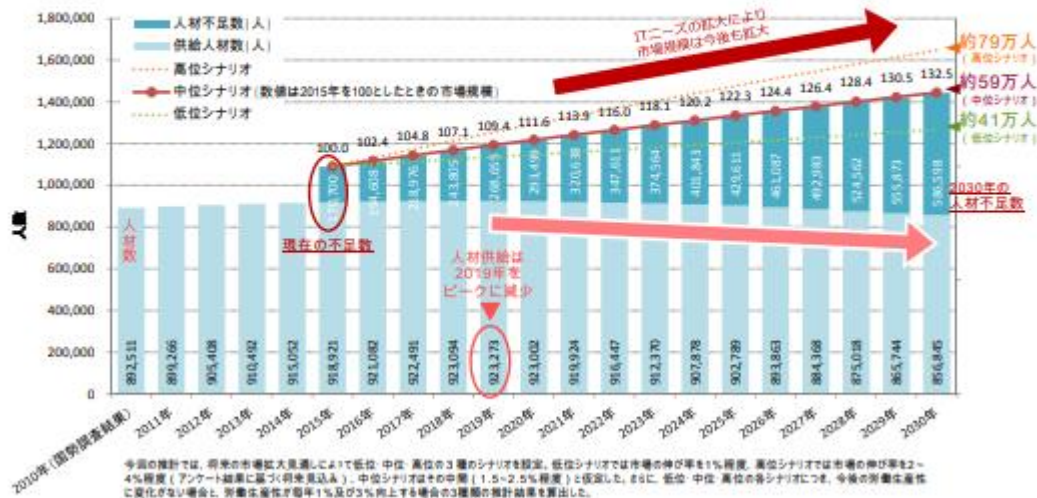
休職者・離職者の増加



人材不足分野への誘導 = IT分野



IT人材の供給動向の予測と平均年齢の推移



IT人材2019年をピークにIT関連産業 への入職者は退職者を下回り、
IT人材は減少に向かうと予想されている。

【経済産業省「ITベンチャー等によるイノベーション促進のための
人材育成・確保モデル事業」】より出典

https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/daiyoi_sangyo_skill/pdf/001_s03_00.pdf

具体的な取組



「Webを活用したIT人材育成
（「基本情報技術者」資格取得オンライン講座）」

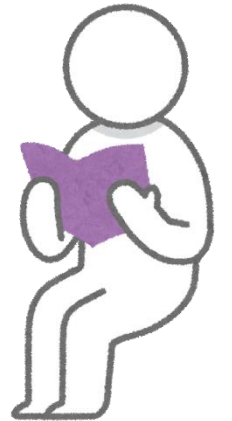
資格取得だけでは転職は難しく実際にプログラミングを学習する時間を別途設けるべきです。（Web分野への転職であればHTML/CSSなどの基礎知識は最低限必要）

身につけた知識を活かす方法まで学習してもらおう。

ITの基礎知識
（基本情報技術者試験）



Web制作の基礎知識
（Webサイト制作）



まなびと

実施方法

複数人同時に接続となると家庭のネットワーク回線では30名同時は通信過多で授業がすすまない可能性があります。※

10人1クラスで実施×3クラス



30名同時でオンラインになると学習の遅れが生じている生徒に対してケアが遅れる可能性があるため、少数で行うことをご提案します。

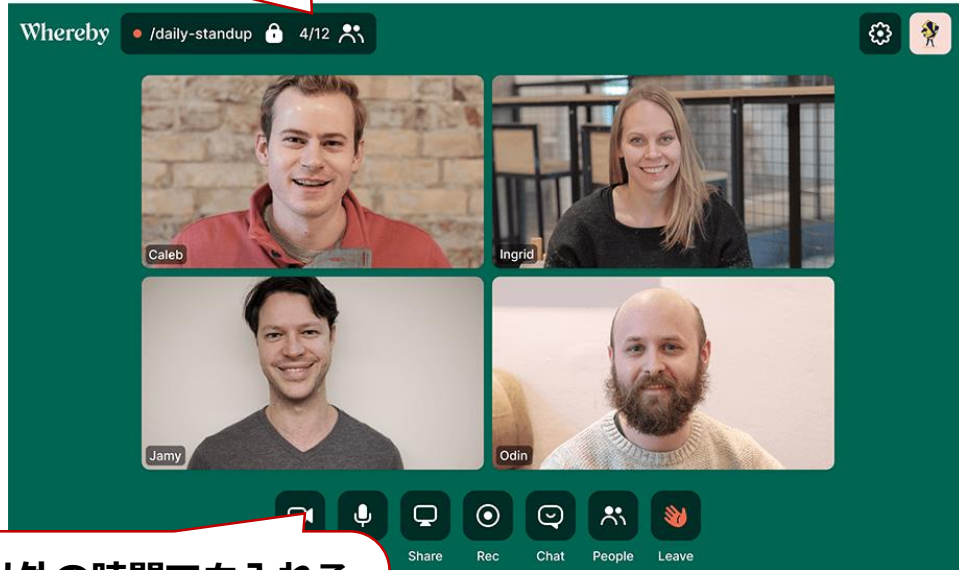
※弊社のオンライン塾でも講師を入れて最大12名で行っております。

まなびと

実施方法（オンライン講座）

授業内容は録画して後から見直しができるようにする。

Whereby（オンラインサービス）



授業以外の時間でも入れるようにしておき生徒同士の情報交換の場にも活用する。（教室のようなイメージ）

チャットで講師にいつでも質問できるようにしておく。

Slack（チャットサービス）



授業中に使用するファイルや情報の交換を行う。

※弊社のオンライン塾でも取り入れているサービスです。

まなびと

実施期間



基本情報技術者（授業）
週1回60分×24回（6ヶ月）2020.10～2021.3

宿題を出しておいて問題の解説を中心に授業をすすめる。



基本情報技術者試験
2021.4 第3日曜



Webサイト制作（授業）
週1回90分×24回（6ヶ月）2020.10～2021.3



制作物の公開
就職活動に役立つ



受講生の必要環境や負担金



※パソコンは弊社から無償で貸し出しいたします。



入塾希望者の面接

受講前に面談を行う。誰でもよいわけではないので、ITに興味があつて県内就職希望に限る。



個人面接（人数によっては集団面接）のセッティング

まなびと

月に1回1人ずつ面談を行います。

- ・希望する進路（転職）相談
- ・学習の習熟度



個人面談のセッティング

県内企業の紹介・セミナー開催

県内企業の紹介

隔月で県内のIT企業・エンジニアとコミュニケーションをとる
機会を設ける。



まなびと